

Z会進学教室 葛西通信 2月号

葛西教室に通う本科生の皆さんは、以下の四点を心がけるようにしましょう。

- 1 進学塾に通う中学生としての自覚を持つこと。
- 2 信頼の土台となるあいさつをきちんとすること。
- 3 書くことを大切に、ノートをしっかりとること。
- 4 自習室を上手に利用し、自分で考えてもわからないことは遠慮なく先生に質問すること。

葛西教室より

葛西教室スタッフの声をお届けします。

「私と箱根駅伝～読書が広げる自分の世界～」

教務スタッフ 松林陽子

こんにちは。葛西教室スタッフの松林です。
みなさん、お正月の箱根駅伝はご覧になりましたか？(受験生はまさか見ていないよね？笑)

私は二日間ともテレビにかじりついて応援しつつ、他人が走っているのを見ただけなのになんだか自分が走ったような気になっておもちをたくさん食べました。よくない。ふたを開けてみれば下馬評通りだったような感じもしますが、今年の箱根駅伝でもたくさんのドラマが生まれましたね。



3冠達成の駒澤

大学駅伝の3大レースのうち出雲・全日本で優勝し、箱根で勝てば3冠がかかっていた駒澤大学。見事、史上5校目となる大学駅伝3冠を達成しました。4区で鈴木芽吹選手(次期主将だそうです、期待大！)がトップに立ってからは独走状態をキープし、危なげなく優勝を果たしましたね。大会終了後には大八木監督(レース中にやたらと檄を飛ばす、箱根名物として有名)が引退するという発表もあり世間を驚かせました。最後の最後に監督を胴上げできてよかったねえ…

古豪の復活・中大

準優勝の中央大学は、これまでに14回の総合優勝を成し遂げている強豪校ですが、2017年には連続出場記録が87回で途切れてしまったこともあり低迷期に入っているとされていました。が、昨年の大会では10年ぶりにシード権を獲得。今年度は箱根の前哨戦である出雲・全日本でも好成績を残し、登録メンバーの10000m自己ベストから見ても優勝候補と言われるまでに復調してきていました。2区で区間賞を獲得した吉居大和選手の快走が印象に残っている人も多いことでしょう(沿道でヤマトさんが激走していたことでも話題になりました)。来年の第100回大会での総合優勝に期待がかかります。

ただでは負けない青学

箱根優勝争いの常連校、青山学院大学は3位でした。往路が終了した時点ではまだ優勝の可能性も残っているかと思われましたが、6区・7区で8位まで沈み優勝争いからは離脱。それでも、裏エース区間と呼ばれる9区を走った4年生、岸本大紀選手が5人を抜き再び3位に浮上。3位集団を捉え、並走することなく一気に抜き去る見せ場を作りました。また、2区を走った近藤幸太郎選手は中大の吉居大和選手と同郷の先輩でもあり、駒大のエース・田澤廉選手を追いかける吉居選手に追いついて発破をかける姿も見られました。エモかった…

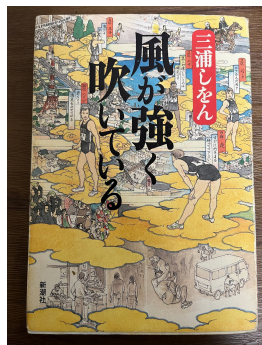


他にも、55年ぶりに出場した立教大学、4年間で3つの区間記録を作ったヴィンセント選手、1区の大部分を独走した学生連合の新田颯選手など注目すべき点を挙げだしたら枚挙にいとまがないほどですが、葛西通信が箱根通信になってしまいそうなので今大会のお話は一旦ここまで。

さて、ここからはタイトルにある「私と箱根駅伝」についてのお話です。

実は私、スポーツに一切興味がありません。一昨年の東京オリンピックは気が付いたら終わっていたし、昨年日本中を熱狂させたサッカーワールドカップに至っては、出勤途中にある居酒屋さんの「今夜！日本-ドイツ戦、一緒に応援しましょう！！」みたいな看板を見て初めて「へえ、今日試合あるんや」と知る始末でした。そんな私が、なぜ箱根駅伝だけは予選会から追いかけるほど面白いと思うのか。きっかけは一冊の小説でした。

三浦しをん『風が強く吹いている』



日本画家の山口晃さんが手掛けた表紙、小ネタが散りばめられていて素敵ですね。とても有名な作品ですので、ご存じの方も多いかと思います。映画化もされました(尚、松林は原作厨のため観ておりません)。超弱小陸上部がたった10人で箱根駅伝を目指すストーリーです。10人中8人は陸上未経験ですから、当然シード権などありません。予選会から箱根を目指すのですが、そもそも予選会に出場するためには選手全員が「10000m34分以内の公式記録を持っていること」という条件があります。そこをクリアするための基礎の練習から、挑戦は始まっていきます。

ネタバレを避けるため結末には触れませんが、読後「こんな面白い競技がこの世に実在しているのか！！！」と衝撃を受けた、ということだけお伝えしておきます。それまでは箱根駅伝について全く何の知識もなく、「そういえば正月にずっと走ってる人達いるなあ」くらいにしかなかったのに、急に翌年の箱根駅伝が楽しみになったのです。そして、初めて2日間テレビに貼りついて観戦した駅伝は小説に勝るとも劣らない面白いものでした。ちょうど「二代目山の神」と呼ばれる東洋大・柏原竜二選手のデビュー戦の年だったことを覚えています。事前に小説で知識を仕入れていたおかげで、「なるほど、これが当日エントリー変更かあ」とか「あれが蒲田の踏切！」とか(高架になったので今はありません)、「追 い す が る 給 水 要 員 ！ ！ ！」とか、初見にしてはかなり深い楽しみ方ができたような気がしています。ここ数年だと、ちょうど上武大学や東京国際大学の初出場があり、小説で読んでいた話が実写化されているようで嬉しい気持ちにもなりました(映画観てないけど)。

中学生(だったはず、たぶん)の時から見始めた箱根駅伝、さすがに受験生だったときはダイジェストに留めましたが毎年応援しているうちに、気づいたら選手がだいぶ年下になっていました(まれに社会人経験者が走る胸熱展開もありますが)。小さいころは読書好きだった私ですが、「本を読むこと自体が楽しいから趣味は読書」というところから「読書をきっかけに実世界で楽しみが増えた」という次元に連れて行ってくれたこの本にはとても感謝しています。



最後に、これまでに私の世界をいろんな方向に広げてくれた本たちをちょっとだけ紹介させていただきます。

【三浦しをん作品】『風が強く吹いている』以外にも、面白い本がたくさんあります。

・『神去なあなあ日常』

「農林水産省」という機関がありますが、「農」「水産」についてはイメージがあっても「林」って想像が付きづらいですよね。これはそんな「林業」をテーマにしたお話です。人知れず(?)日本の産業を支えている林業の世界、覗いてみませんか？



・『舟を編む』

本屋大賞を受賞した作品で、アニメにもなっています。辞書を作る人たちの、一見地味だけど熱いお話です。言葉に関するアンテナの感度が爆上がりすること間違いなし。装丁が最高なので、ハードカバーで読むのがおすすめです。実家に置いてきてしまったようで写真がないのですが…

・『仏果を得ず』

こちらは文楽(人形浄瑠璃)をテーマにした作品です。とっつきにくい気がする伝統芸能ですが、中の人たち(人間国宝を含む)は意外と親しみやすいのかも!?と思える、カテゴライズするならば青春小説。文楽、観てみたいなーと思っていたのにまだ実現させていなかったことをこの記事を書きながら思い出しました。



【スポ根もの】

・森絵都『DIVE!!』

飛び込み競技のお話です。台から飛び込んで着水するまでの時間はわずか「2秒」。一瞬のうちに宙返りしたりひねりを入れたり、水しぶきを立てないようにフォームを整えたり…二日もかかる箱根駅伝とは正反対の刹那的な競技性、こちらもまた魅力的なのです。この本に出会った中学生の夏休み、宿題だった体育のレポートを飛び込みで書いたのはきっと私ぐらいだったでしょう。この本もきっと実家にある…

【音楽もの】

・恩田陸『蜜蜂と遠雷』



本屋大賞受賞作であり、映画化もされているのでご存じの方もいらっしゃるでしょう。世界的なピアノコンクールに挑む若者たちの物語です。この本にもっと早く出会ってれば、もう少しピアノを頑張ろうという気になったかもしれないなあと思いながら読んだ作品です。この作品に関しては、物語に登場する音楽を実際に聴きたかったので、原作至上主義者の私にしては珍しく映画も観たしサウンドトラックも買いました。原作を読んでから映画を観るのがおすすめです(じゃないとストーリーがよくわからないと思われるので…)。

【変わり種】

・ほしおさなえ『活版印刷三日月堂』シリーズ

川越にある(という設定の)活版印刷所と街の人々が織りなす、つながりのある短編集です。喫茶店のショップカードや結婚式の招待状、大事な気持ちやこだわりを活版印刷で形にすることで生まれる人の縁とあたたかい心。こんな優しさのある世界で私は生きたい。紙製品好きとしても堪らないお話でした。この本をきっかけに活版印刷が気になりだした私は、活版印刷のイベントに行って実際に体験してみたり、蚤の市で活字を買ってみたり、『大人の科学』という雑誌の付録の小さな活版印刷機を組み立てようとして挫折して妹に丸投げしたりしました。妹が完成させてくれた活版印刷機は、お手入れがめんどくさそうなので一度も使わず大事にしまい込んであるなそういえば…



いろいろと紹介しましたが、興味がわくものはありましたでしょうか。塾で働く者として、みなさんには何よりも勉強を頑張してほしいと思ってはいるものの、受験勉強だけでは生活が味気なくなりがちなのもまた事実。きっかけは何だっていいのですが、自分の世界が広がると生活の中のいろんなことが面白く見えてきて、日常が豊かになるものです。そのきっかけの一つとして読書があります。本から得た知識が、まわりまわって受験に役立つ、なんてこともよくある話です。3年生は受験が終わって一息ついたら、1・2年生は今のうちに、本を読んでみませんか？

月	日	曜	受付	本科生スケジュール			本科生以外の方対象のイベントなど	
1	28	土	14 ~ 22					10:00~12:30 新中1公開実力テスト
	29	日	10 ~ 20	3K 2月度①		中1・中2 1月度③	6V 確認テスト	
	30	月	14 ~ 22					
	31	火	14 ~ 22					
2	1	水	14 ~ 22					
	2	木		休室				
	3	金	14 ~ 22					
	4	土	14 ~ 22				16:30~17:30 6V授業報告会	10:00~11:00 新中1生対象講演会 「Z会進学教室からの難関高校受験」
	5	日	10 ~ 20	3K 2月度②		中1・中2 2月度①	2V 月例テスト	1V 月例テスト
	6	月	14 ~ 22					
	7	火	14 ~ 22					
	8	水	14 ~ 22					
	9	木		休室				
	10	金	14 ~ 22					
	11	土	14 ~ 22					
	12	日	10 ~ 20	3K 2月度③		中1・中2 2月度②		中学準備講座 開講
	13	月	14 ~ 22					
	14	火	14 ~ 22					
	15	水	14 ~ 22					
	16	木		休室				
	17	金	14 ~ 22					
	18	土	14 ~ 22					15:00~16:00 春期講習説明会
	19	日	10 ~ 20			中1・中2 2月度③		
	20	月	14 ~ 22					
	21	火	14 ~ 22					
	22	水	14 ~ 22					
	23	木		休室				
	24	金	14 ~ 22					
	25	土	14 ~ 22					14:00~16:50 新中2・新中3学力診断テスト
	26	日	10 ~ 20			2K 実力テスト	2V 実力テスト	1V 実力テスト
	27	月	14 ~ 22					
	28	火	14 ~ 22					
3	1	水	14 ~ 22					
	2	木		休室				
	3	金	14 ~ 22					
	4	土	14 ~ 22					
	5	日	10 ~ 20			新中2・新中3 本科3月度①		15:00~16:00 春期講習説明会